

第2回 横浜市狩場緑風荘 指定管理者選定委員会会議録	
開催日時	令和8年8月7日（金） 10時30分～12時00分
開催場所	保土ヶ谷区役所 2階 202 会議室
出席者	<委員>志村委員、田中委員、保要委員、矢岳委員、鈴木委員（計5名）
欠席者	無し
開催形態	公開（傍聴者なし） ※議題3以降非公開
議 題	1 オリエンテーション 2 応募団体面接審査 （1）プレゼンテーション （2）質疑応答 3 意見交換、評価シート記入 4 指定候補者の決定
	1 オリエンテーション 事務局から、選定委員会の進め方、応募結果、評価・選定方法等について説明。 2 応募団体面接審査 【エフィラグループ株式会社】 （1）プレゼンテーション 応募団体によるプレゼンテーションを約15分実施 （2）質疑応答 委員からの質疑と応募団体による応答を約15分実施 主な質疑応答の内容は以下のとおり ----- 委 員：立地的に通いづらい施設であるが、近隣住民以外の利用者を獲得するために、どのような取組を行う予定か。 応募団体：立地条件を踏まえると、利用者に「わざわざ足を運びたい」と思っただけの魅力的な事業を展開していくことが重要であると考えている。また、当社が他事業で運行している送迎車について、空き時間を活用した送迎サービスの実施ができないか検討している。 委 員：福祉避難所としての受入体制について、どのように整備していく予定か。 応募団体：福祉避難所としての受入体制については、区と協議しながら構築していく考えである。また、運営に必要なマニュアルを作成し、施設の運営開始までに必要な体制を整備する予定である。当社は他事業において避難訓練を多数実施してきた実績があるため、その経験やノウハウを当施設の運営にも反映していきたいと考えている。

	委員：貴団体が幅広い事業を展開しており、そのノウハウを施設運営に活用しようとしていることは理解できた。一方で、老人福祉センター狩場緑風荘という施設固有の特性を踏まえ、どのような運営を行っていく考えか伺いたい。 応募団体：当施設の特徴の一つとして入浴設備を有していることが挙げられる。入浴設備は維持管理に特に配慮が必要な設備であるため、安全かつ快適に利用していただけるよう、日常点検や設備管理を適切に実施していきたいと考えている。また、施設全体についても築年数を経ていることから、計画的な修繕や維持管理を行い、優先順位をつけながら安全な施設運営に努めていく。職員体制については、現スタッフの継続雇用の他、グループ全体で新規採用も精力的に行っており、安定した運営を行ってきたい。 委員：財務諸表を確認したところ、特別損失が２年連続で赤字となっているが、今後も継続する性質のものなのか。 応募団体：赤字となった要因はいずれも当該年度に特有の一時的なものであり、継続的に発生するものではないと認識している。そのため、今後も継続して赤字要因となるものではない。 ----- ３ 意見交換、評価シート記入 （１）応募団体の財務状況について、矢岳委員より説明。特に大きな問題はなく、５年間は問題なく指定管理を行うことができると判断した。 （２）事務局から、応募団体が応募資格を有すること及び暴力団経営支配法人等に該当しないことについて報告。 （３）提案内容について委員による意見交換を実施。 ・法人理念が明確であり、多数の施設運営実績を有していることから、安定した施設管理運営が期待できる。 ・保育サービスやデイサービスなど幅広い事業を展開しており、それらのノウハウやネットワークを生かした連携事業の提案が見られたことから、施設運営に新たな視点をもたらすことが期待できる。 ・提案された自主事業については、施設の立地条件を踏まえた場合、その効果や実現性について慎重に見極める必要があると感じられた。 ・老人福祉センター狩場緑風荘の施設の特徴をより強く意識した取組やアプローチについての視点はあまりなかった。 ４ 指定候補者の決定 各委員の評価点を集計した結果 650 満点中 425 点となり、また加減点項目を除く最低基準点（330 点）も満たしているため、<u>エフィラグループ株式会社を指定候補者として決定した。</u>
資 料	１ 資料 （１）選定委員会の進め方等について （２）横浜市狩場緑風荘指定管理者選定委員会名簿

	(3) 席次表 (4) 選定委員会 当日スケジュール (5) 応募書類 (6) 評価シート (7) 確認書（応募団体との利害関係について）（
--	--